

あなたとさいたまをむすぶ

トトロのふるさと

Hometown of "TOTORO"

埼玉民医連
医療生協さいたま
ワークスタイルマガジン

Nov
2017
No.182

11

地域医療を支える

トトロのふるさとFriends

トトロのふるさとFriends合宿

岩手支援参加レポート

埼玉といえば…なに？

埼玉あるある 4コマ漫画連載中！

これから
医師になる
あなたへ

ワークスタイルマガジン
トトロのふるさと

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1317番地 048-296-5822
埼玉協同病院 教育研修センター www.skymet.jp/ 〒サイエンス編集：パソナロクテックス株式会社



Doctor's Off Time

ドクターズ・オフタイム

埼玉協同病院 2年目初期研修医
石濱 智奈美

意外なカバの寝姿

大学一年生の頃、沢木耕太郎の深夜特急シリーズを読み、多くの旅好きがそうであるように御多分に漏れず感銘を受けました。そして、いつしか旅にどっぷりハマっている自分がいま。気づけば踏み入れたことのある国は三十ヶ国を超えていました。先日の夏休み、南アフリカ共和国、ジンバブエ、ボツワナ、ザンビアに行ってきました。日本から移動すること丸一日、喜望峰に辿り着いた時の感動もひとしおでしたが、何と言ってもアフリカの魅力はサファリです。雲ひとつない青空に灼熱の太陽が照りつけ、赤い土が地平線の果てまで続く。チンパンジー立公園はまさに大自然でした。サファリ用に改造された、窓のないランドクルーザーで砂埃の舞う悪路を突き進み、上下左右に思い切り身体を揺さぶられながら、乾いた風を吸い込むと、ああ、本当にアフリカに来たんだ、とじわじわと胸にこみ上がってくるものがありました。動物を発見するとドライバーさんがその方向に走ってくれるので、望遠機能つきの一眼レフを構え、お食事に無我夢中のキリン、川岸で泥遊びをする子供を囲んで温かく見守っているメスのアフリカ象たち、死んだように寝ているワニ、などなど、彼らの日常をありがたく写真に収めていきました。中でも驚いたのは、二十頭以上身を寄せ合って川に浮いていたカバの集団でした。よく見ると、それぞれがお隣の力バのお尻に自分の頭を預けて眠っているのです。見事な助け合い。突然思い出したように口を大きく開け、再び夢の世界へ引きずり込まれていく姿が、なんとも怠惰で愛らしいのでした。

残念ながらライオンには今回出会えなかったのですが、いつか絶対にリベンジしたいと思っています。

Information

埼玉協同病院 見学・研修説明会

■日 時 11月25日(土)、1月27日(土)、
2月24日(土)
いずれも10:00～12:30
■会 場 埼玉協同病院
■対 象 医学生
※希望日の1週間前までにお申し込みください

奨学金制度説明会

■日 時 11月4日(土)、12月2日(土)、
1月6日(土)、2月3日(土)
いずれも10:30～12:00
■会 場 埼玉協同病院
■対 象 医学生・医学部進学予定者

【埼玉民医連・医療生協さいたま奨学金制度概要】

- ①貸与金額 月額80,000円
 - ②返済免除制度あり(当法人に入職した場合)
 - ③特別貸付制度・入学時貸付制度あり
- ※希望日の前日までにお申し込みください

医学部受験模擬面接会

■日 時 12月16日(土)
13:30～16:00(開始は14:00から)
■会 場 埼玉協同病院
※詳しくはホームページをご参照ください

民医連の医療と研修を考える 医学生のつどい Third Quarter

■日 時 12月23日(土)～24日(日)
■会 場 湯河原温泉で開催予定
■対 象 医学生
■テーマ 医師の使命を考える
～今の時代に求められる私たちの役割～
■参加費 無料
(交通費などの補助もあります。お気軽にお問い合わせください)

埼玉民医連・医療生協さいたま 第24回奨学生交流集会

奨学生交流集会は、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・介護福祉士を目指す学生たちが、将来ともに働く仲間として年に一度集まり、学習と交流をしています。奨学生ではない方も参加できますので、お問い合わせください。

■日 時 12月29日(金)
9:30～16:00(予定)
■会 場 埼玉協同病院ふれあい会館
(川口市木曽呂1317)
■対 象 医学生など医系学生
■参加費 無料
■内 容 「憲法」についての学習や一年間の活動報告および交流を行う予定です。

お申込み
お問合せは
こちら

埼玉協同病院 教育研修センター SKYMET

048-296-5822 skymet@mcp-saitama.or.jp

発行:

埼玉民医連

医療生協さいたま

M4251114789651524





広く深い知識を元に
早く正確な診断を！

病

理医は、とても守備範囲が広いのが特徴です。皮膚科、眼科、耳鼻科、婦人科と、全臓器が相手になりますから。いろいろな臓器のいろいろな病気を片っ端から勉強して、知識を広げていきました。実は、どんな細かい病気にも病名がきちんとついているんですよ。臨床をやっているだけではなかなか得られない知識に触れるのは、病理医ならではの楽しみです。

仕事をしている上では、とにかく「間違えないこと」に気を配っています。それは、どんな仕事でも一緒だとは思いますが、それだけでも重要ということなんです。あとは、結果を早く出すこと。例えるならテニスの壁打ちのように、早く打てば早く返ってくる……正確かつ、ミスがないように。それには、やはり経験が必要になってきます。病気への知識を広く持つのは、はじめは大変ですが、覚えてしまえばなんとかなるもの。あとは、時代によって診断名や分類が変わることがあるので、学会や他の

患者さんに本当に
必要なことを探して――
病気に関する総合的な知識を元に
あらゆる原因を探りだす[※]病理医。

※病理医とは

病理医は患者の臓器を肉眼で確認したり、採取した細胞を顕微鏡などで調べて病かどうかを診断したりする『病理診断』を仕事とする医師のこと。病理医が病気の原因を明らかにし、適切な治療方針に結びつけます。医師からとても頼りにされており、別名「お医者さんのお医者さん」と言われています。

埼玉協同病院 病理科

いし づ ひで き
石津 英喜

内科医として勤務しながら、
知識をさらに広げていく。

解剖や顕微鏡で見る世界のことがもっと知りたい、という思いから病理医に。
埼玉協同病院で病理診断をする傍ら、現役の内科医として、
外来や当直勤務にもあたっている石津医師。そのバイタリティの源とは？

#19
Message
from
the Doctor

医

他の科と別の動きをする
病理医という仕事の魅力

師になったのは25年くらい前。もう忘れてしまいうくらい昔の話なんです。中学から高校生のときに腎炎を患っていたんです。何年も病院に通い、入院もしていたので、医者という職業が身近に感じたのかな。そして何より、自分に病気があることでこの先、何か不利なことが起こるかもしれないという思いから、自分の病気は自分で治そう！というところで、医者を目指したんです。病気は、社会人になってから自然に治って、今ではすっかり健康です（笑）。

医師になつてはじめての5年間は、内科を専門にやっていました。そのときに担当の先生にアシスタントとして指名してもらったようにお願いして、解剖をよくやらせてもらうことに。100件くらいはやったと思います。当時はまだいろいろな病気を知らなかったたので、遺体を調べて病気の原因を探るということに強い興味を抱きました。通常の医者は外来をやつて、病棟を見て、患者さんの治療に当たるといったのが仕事ですが、病理医は顕微鏡を見ている時間イコール仕事時間なので、動き方としては全く別のベクトルになります。

実際に経験しながら
知識を身につけていく

現

先生から常に情報を得るようにしています。また、患者さんの状態を正確につかんで、行き過ぎた治療をしないように気をつけるのも、病理医の仕事です。

在は病理医と並行して、内科医としても勤務しているので、病気の種類を知っているというのはいやばり良いですね。ずっと内科だけやってたら知らなかった珍しい病気でも、見逃さないというのは強みです。病理医と他の科目を掛け持ちしているのは、珍しいことかもしれませんが、病院として、許されない状況の人がほとんどです。埼玉協同病院では、それが認められているから助かっています。やはり自分は、内科医としてもずっとやっていけるだけの実力を保っていたいので、これからも続けていきたいです。埼玉は比較的、仕事しやすい環境だと思います。東京近辺ということもあり、様々な流れで来ている人が多いこともあって、いろいろなタイプの人を受け入れてくれるんですよ。自分の仕事しやすいのはいいですね。

勉強って、教科書だけ見ているだけじゃなかなか頭に入ってこないんです。

石津 英喜 | Profile

出身 埼玉県上尾市
大学 1992年 群馬大学卒業
職歴 1992年 埼玉協同病院で初期研修
2004年 かすかべ生協診療所所長
2007年 埼玉協同病院病理科部長

認定資格 日本内科学会総合内科専門医
日本病理学会病理専門医



地質調査時代の経験が 今の地域医療に結びついた

名

古屋大学の大学院を卒業した後、大手の地質調査会社に就職しました。でも、入ってすぐに会社の経営が厳しくなり、リストラが始まったんです。仕事の内容は楽しかったし、やりがいも感じていました。でも、人間って職場環境が不安定だと、希望が持てなくなるんですね。将来像を描けなくなり、悩んだ末医学部に入り直すことにしました。

実は、地質調査をしていた頃の経験が、僕を地域医療へと導きました。山間部に地質調査に行くと宿泊施設もお店もないので、集落の人たちにお世話になることがあります。限界集落だと一番若い人でも40代。ものすごい過疎・高齢化でした。お世話になったおじいさん、おばあさんたちから「どちらかが倒れちゃったらどうしよう」とか、「村営のバスがなくなったら診療所に通えない」など、さまざまな声を聞きました。地域医療のニーズを、肌で感じた瞬間でした。埼玉協同病院は、そういうニーズにも向き合う病院だと思ってます。外科医、整形外科医、産婦人科医などとともに、手術を受ける患者さんが一日も早く元の生活に戻れるように、麻酔科医として貢献したいですね。

#20
Message
from
the Doctor

他の科と連携しながら、最高のサポートを

勤続10年目の若手麻酔科医。大手地質調査会社に入社してから、医師を志したという異色の経歴の持ち主。現在は麻酔科医として手術の麻酔管理だけでなく、患者の「痛み」を軽減する「ペインクリニック」を担当している。

埼玉協同病院 麻酔科

かね こ ご ろう
金子 吾朗

「患者さんの
身体と向き合う
常に全力で手術をサポートしたい。」



患者さんが安心して手術を 受けられるような麻酔を

麻

麻酔科業務の特徴の一つは、1人の患者さんに集中できることです。他の科ですと、外来と病棟合わせて何十人も患者さんを並列で診なくてはなりません。常に、目の前にいる一人の患者さんに集中でき、手技の上達が可能できる麻酔科が、自分には合っていたのだと思います。

一番うれしい瞬間は、何と言っても、

無事に手術を終えた患者さんから「もう手術が終わったんですか?」「全然痛くないです」と言われたときです。「こんなに楽に手術が受けられるんだったら、何年も我慢するんじゃないかなかった!」って言うのも我慢するんじゃないかな。言ってもらえたときは、麻酔科医をやっているって本当によかったと思いました。

麻酔科医は患者さんを相手にするといふよりは、患者さんの身体と向き合う仕事です。身体にはその人の人生が刻まれている、一人一人違う。執刀医から感謝されるのもうれしいですね。麻酔科医が

たくさんの人との出会いが 自分の可能性を広げていく

ペ

「管理しやすい麻酔」と、術者が「術後管理がしやすい」ことは必ずしも一致しません。麻酔管理は少し難しくなるけど、できるだけ術者が術後管理をしやすいうようにもっていく。年月をかけ、件数をこなしながら、その技を深めていきます。

インクリニックにも力を入れています。痛みを訴える患者さんがいたら、普通の医師はその痛みの原因となる病気を探りますよね。病気がわかって、それが治れば痛みは引く、という考え方が基本です。なので、「病気が治っても残る痛み」「病気に起因しない痛み」「原因がわからない痛み」に関しては、痛み止めを出しておしまい、ということも少なくない。でも、ペインクリニックは「痛み」と向き合う科です。ブロック注射で早期に介入することで、症状が慢性化するのを防げる場合もあります。患者さんを苦しめている「痛み」を和らげること、その人の活動の制限を少なくし、より充実した生活を送れるように手助けしたいです。

実際に医師になってみると、イメージしていた医師像とだいぶ違いました。学

金子 吾朗 | Profile

出身	北海道
大学	2008年 琉球大学医学部卒
職歴	2008年 埼玉協同病院で初期研修 2010年 東京女子医科大学 東医療センターで麻酔科専門研修
認定資格	日本麻酔科学会麻酔科専門医



生さんたちには、自分の理想とする医師像に向かってがんばるだけでなく、自分が好きなことも精一杯やって自分を磨いてほしいです。あと、学生のうちに一人でも多くの人と関わって、コミュニケーション能力を磨いてほしい。医師はいろんな人を相手にする仕事なので、それが自分の未来を広げる手助けになるはずですよ。

さいたまあるある4コマ “鴻巣”といえは



さいたま豆の木

マx知識

かわはばうどん?

鴻巣市内を流れる荒川の川幅はなんと日本一！そんな川幅日本一にちなんで誕生したのが**かわはばうどん**。なんと7cmから8cmと、きしめんをはるかに超える麺幅！！そして川の流れをモチーフにした滑らかな食感が特徴。鴻巣にお越しの際は是非ご賞味ください♪

8月21日、22日にトトロのふるさとFriends合宿がおこなわれました。今回は、「埼玉をもっと知ろう」「貧困問題について考えよう」をテーマに、秩父生協病院を訪れ、秩父地域の医療の現状と、貧困事例のお話を聞きました。

また、NPO法人はっとプラス代表理事で『下流老人』の著者でもある藤田孝典さんから「全世代の貧困と医学生の方々に知ってほしいこと」と題した講演をして頂きました。

1日目の夜はバーベキューなどで交流し、2日目はアスレチック「フォレストアドベンチャー」にチャレンジして良い汗



参加者は医学生5名と埼玉協同病院の研修医など3名で、学習会には医療生協さいたまの組合員や職員も多数参加してくれました。

参加者からは「社会に目を向けて、考えることを忘れずに続けていきたい。人々が不自由なく生きていける社会に日本が近づくように考えていきたい。」「貧困による健康の妨害は少なからずあるが、医師としての他の医療従事者と共に、患者さんにより良い医療を提供できるようにしたい。」「貧困は見ようとしないと見えないと言言葉に共感した。まずは社会について目を向けて様々な事に関心を深めたい。」などの感想が寄せられました。

岩手支援参加レポート

8月24・25日、いわて生協が震災後続けている「ふれあいサロン」に医療生協さいたまの「ミニ健康まつり」を合わせた企画と被災地の見学学習が行われ、埼玉から25人の組合員と職員そして医学生、看学生が参加しました。参加した医学生の感想をご紹介します。

24日に行ったりアース・アーク美術館では、被災当時の写真と説明を見て、テレビ等であまり取り上げられていない町の細部の惨状を知り胸が痛みました。「以前の生活文化を取り戻すという意味での復興はまだまだ全く進んでいない」という一文が心に刺さりました。

また、莫大なエネルギーを持つ津波によって被害を受けた建物を見たりガイドさんの話を聞き、震災のことを語り継ぐとともに、それを教訓にしなければならいと感じました。

25日の県営屋敷前アパートで行った「ミニ健康まつり」では、住民のかたが健康チェックを楽しそうに回っていたり、紙芝居、歌、じゃんけん大会をいきいきと見たり楽しんでいる姿が印象に残りました。楽しいひとときを作るお手伝いができ、良い経験になりました。

今回の行動をうけて、津波の被害を受けた地域の復興は想像よりかなり遅れていること、それでも地域の人々は復興へと尽力していることを実感しました。

自分が現地に行き感じたこととあわせて、「避難場所、避難経路の確認や備蓄が充分



リアス・アーク美術館に展示されている当時の写真とがれき



ミニ健康まつりで健康チェックを受ける地域の方々

かどうか見て、家族で緊急時の事を決めるのは、今の自分達にできることだ」と周りの人達に伝えていきたいです。

(筑波大学M)

NewFace Doctors

新入医師紹介

今年の4月から埼玉協同病院で働きはじめた7名のドクターのうち3名を紹介します。



#1



田中 小百合

Sayuri Tanaka

出身大学
秋田大学

趣味
読書(小説、漫画どちらも)、面白そうなことの新規開拓

性格自己診断
すなお

大学時代の部活
柔道部、カーリング部

❶ 就職したきっかけ

①アットホームな病院の雰囲気。②指導熱心で尊敬できる先生や先輩がいる。③人口10万比人対医師数ワーストの埼玉県で働ける。④研修医(同期)が7人と丁度よい。⑤民医連の医療ができる。

❷ 総合内科研修が始まって5カ月の感想

ようやく業務に慣れてきましたが、初めて学ぶことが連続の毎日です。大変ではありますが、指導医の先生、スタッフさん、時には患者さんに支えられながら楽しく日々を過ごしています。憧れの先生たちのようになれることを目指して、一步一步着実に成長していけるよう励みたいと思います。

❸ 出身大学紹介・大学時代の思い出

佐賀は温泉や有田焼が有名なところです。大学から空手を始め、4年次には部長を務めました。さらに室内楽でピアノを弾いたり、バイトしたり、学祭の実行委員をしたりと医学以外にもたくさんのことを学んだ充実した6年間でした。あの頃の漲る若さをいつまでも維持したいです。

#3



村本 耀一

Yohichi Muramoto

出身大学
筑波大学

趣味
映画、読書、音楽、楽器

性格自己診断
前向き

大学時代の部活
軽音楽部

❶ 就職したきっかけ

医学生時代から奨学生として、民医連の活動に参加し、駅前相談会や実習を通して地域に健康に関して困っている方々が沢山いることを感じ、地域の人々に最も近い病院で働こうと思いました。

❷ 総合内科研修が始まって5カ月の感想

初めは上級医やまわりのスタッフに助けられながら、なんとか研修をスタートすることができました。とても働きやすい環境で、チーム医療の一員として医療を提供することにやりがいを感じています。患者さんたちとの出会いの中でも学ばせていただくことが多く、これからも触れ合いを大切にしながら研修を続けていきたいです。

❸ 出身大学紹介・大学時代の思い出

筑波大学は街がまるごと大学になったような場所で、友達との距離が近く毎日どこかに出かけていました。楽器やフルマラソン、海外留学など色々なことにチャレンジさせていただいた期間でもあり、大学時代での経験を忘れずに視野を広くもって社会人として成長していきたいです。

きみもトトロのふるさとFriendsに登録しよう!

医学生、そして、医学部を目指している皆さんにご案内します。埼玉は人口当たりの医師も看護師も病床も日本一少ないにも拘らず、今後日本一急速に高齢者が増える県です。このままだと増大する需要に対応出来ず、現在の医療崩壊状況がさらに悪化することは必至です。埼玉県で働く医師や看護師を抜本的に増やす事がどうしても必要であり、この問題の解決と一緒に取り組んでくれる仲間として、会に参加してくれる方の応募を心からお待ちしております。

トトロのふるさと Friendsに参加していただける方は右のQRコードを読み取り、登録フォームよりご登録ください。



連絡・問い合わせ先

埼玉協同病院 教育研修センター

<http://www.skymet.jp/>
<https://www.facebook.com/kyoudou.skymet>